

構造関係規定（建築基準法第 20 条構造耐力等）に対する措置【構造事例シート（調査票）】

事例名	事例名： _____	（所在地： _____）	／構造： _____
-----	------------	--------------	------------

※当事例の記載内容は、どのような資料に基づき記載したか、出典資料をご記入ください。（例：保存活用計画、建築審査会資料、任意で求めている完了時の報告書 など）

（出典資料： _____）

1. 概要

1-1. 耐震対策に係る基本方針及び実施内容

①基本方針

※当事例における、法第 20 条構造耐力等（各施行令を含む）への対応の基本的な考え方・方針について、ご記入ください。

法第 20 条等に対する措置の基本的な考え方
例：伝統的木造軸組構法であることから、限界耐力計算による診断・設計を行い、「極めて稀に発生する地震（震度 6 強相当）」でも倒れない耐震性能を確保するための補強を実施。

②実施内容

※「実施内容」欄については、耐震診断・耐震補強の内容について、それぞれ概要を 2～3 行程度でご記入ください。

※「実施した措置」欄については、法第 20 条に対する措置として実施した内容について、1～4 のうち、該当するものに「○」を付けてください。

実施内容	耐震診断： ・	実施した措置	
	耐震補強： ・	1	現行の建築基準法（耐震診断基準）に適合させた
		2	現行の建築基準法（耐震診断基準）と同等であることを建築基準法（耐震診断基準）以外の方法（基準）で検証した
		3	現行の建築基準法（耐震診断基準）に近づけた
		4	現行の建築基準法（耐震診断基準）に適合させていない（新たに不適合部分を生じさせない）

1-2. 既存建築物の構造上の問題・課題等

①構造上の問題・課題

※活用前の既存建築物が抱えていた構造上の問題・課題点について、ご記入ください。

構造上の問題・課題など
例：鉄筋コンクリートと煉瓦造の混構造のため、現行の建築基準法の構造形式に技術基準が定められておらず、構造計算のルートが不明だったため、評価ができなかった。 伝統的木造軸組構法のため、現行の耐震診断基準に基づく耐震性能評価が困難。など

②現行の建築基準法（耐震診断基準）の適合の判断状況

※当事例において、活用前に、構造関係規定(法第 20 条、法第 37 条等)への適合の判断状況についてご記入ください

現行の建築基準法(耐震診断基準)の適合の判断状況について
<p style="color: red;">例：その他条例の指針において、既存建築物については、法 20 条の適合の判断（計算）を求めるものではなく、適用建築物については、地震に対する安全性として、「極めて稀に発生する地震（震度 6 強相当）」でも倒れない耐震性能を確保することとしていることから、適合の判断（計算）は特に行っていない。</p>

※上記で適合の判断を行った場合、現行の建築基準法(耐震診断基準)に照らして不足していた内容を施行令ごとに具体的にご記入ください。記入欄が足りない場合は、欄を追加してください。

※また、安全性確保のために実施した措置(工事内容)と当該工事を行った理由について把握するため、施行令ごとに実施した措置内容(工事内容)をご記入ください。

※適合状況を判断した場合

現行の建築基準法(耐震診断基準)に照らして不足していた箇所など				安全性確保のために実施した措置(工事内容)	
1	令第 条		→	1	
2	令第 条			2	
3	令第 条			3	
4	令第 条			4	

2. 耐震対策等の具体的な内容

※棟が複数あり、診断・計画・補強等の内容が棟ごとに異なる場合は、棟ごとに対応状況を記載してください。

2-1. 耐震診断

※実施した耐震診断の方法と診断結果をご記入ください。

※また、耐震診断の結果、判明した地震時の安全性に係る課題や対応方針などについてご記入ください。

診断方法・診断結果 (安全性に係る課題等)	※診断方法、診断結果、安全性に係る課題等について、それぞれご記入ください。 ※耐震診断を実施した際の具体的な診断方法についてもご記入ください。 (例 壁の一部を剥がして●●について目視調査を行った。 (例 建物の修繕履歴等を確認し、●●について●●を確認した 等)
--------------------------	---

2-2. 耐震計画

※耐震診断結果を受けての対応方針など、耐震計画についてご記入ください。

※また、実際に実施した措置以外に検討した計画案があればご記入いただくとともに、そのうち実際に行った計画を選択した理由など、検討経緯についてもご記入ください。

耐震計画	※評価・設計の際に苦労した点などについてもご記入ください。
------	-------------------------------

2-3. 耐震補強

※診断結果・耐震計画を踏まえて実際に実施した耐震補強の概要について、ご記入ください。

※具体的に行った内容について、補強の目的や理由とともにご記入ください。

実施内容	概要 当該建築の文化的価値を活かすために行った工夫点	※具体的に行った内容について、補強の目的や理由とともにご記入ください。
今後の方針	※今後の耐震改修方針等がございましたら、ご記入ください。	

2-4. その他の災害対策

※その他、風圧、積雪など、法第 20 条に係る項目で診断・対策を実施している場合は、その内容を記載してください。

●耐風対策

診断方法と診断結果等	
実施した補強内容	
その他ソフト対策等	

●積雪対策

診断方法と診断結果	
実施した補強内容	
その他ソフト対策等	

図、写真等

※上記の構造補強を実施した箇所が把握できる図面、写真等(改修前後の部材の写真等)をご提供ください。

※ワードに貼り込むとともに、貼り込んだ図等の元データをご提供ください。なお、これまでにご提供いただいた、建築審査会資料、保存活用計画等から図版を用いている場合は、改めて元データをご提供いただく必要はございません。

※図等の出典をご記入ください。

(出典：)